

eConsent国際シンポジウム

オンライン開催 / 参加無料

英語日本語同時通訳

お申込みはこちら >>>



お問い合わせ先

e-mail: dit-dct@hosp.ncgm.go.jp
TEL:03-6228-0445

コロナ時代の eConsent普及と 課題解決

日時

2023.3.3(金)
15:00~17:30

eConsentを導入することで、被験者の臨床試験に対する理解度を高め、かつリモート環境でも同意を得られる可能性がある。
eConsentへの関心は臨床試験の現場で高まるものの、普及は進んでいない。
今回のシンポジウムではその現状と課題を共有し、解決に向けての方向性を議論する。

座長

国立国際医療研究センター 臨床研究センター
インターナショナルトライアル部 エグゼクティブマネジメント室長

友次 直輝

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 電子化情報部会 会長(帯人ファーマ)

佐久間 直樹

プログラム

■開会ご挨拶

国立国際医療研究センター 臨床研究センター インターナショナルトライアル部 部長 飯山 達雄

I eConsentにおける共通認識

- 医薬品開発におけるeConsentの現状と課題
日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 電子化情報部会 吉本克彦
- eConsentの基礎知識—メリットとデメリット
国立国際医療研究センター 臨床研究センター
インターナショナルトライアル部 エグゼクティブマネジメント室長 友次 直輝

II これまでのeConsentとこれからの課題

- 患者中心の説明同意を目指してわたしたちが取り組めること
中外製薬株式会社 臨床開発本部 バイオメトリクス部
臨床システム&インフォマティクスグループ 臨床試験関連ITソリューションアーキテクト 高橋 真実
- Making eConsent a habit in Clinical trial:
Experiences and challenges in the EU and the US.
Data management lead, Global Business Division, Remedy & Company
Ramya Krishna Mokkaapati
- eConsent—グローバルの現状とチャレンジ
メディデータ・ソリューションズ株式会社 ダイレクトセールス ソリューションスペシャリスト 小野口 浩行

III パネルディスカッション

- eConsentはなぜ普及しないのでしょうか。
- eConsentを導入するためには、どのような課題があるのでしょうか。
- これらの課題を解決するために、私たちはどのような行動をとるべきでしょうか。

■閉会ご挨拶

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 副委員長 近藤 充弘

主催



国立国際医療研究センター
臨床研究センター
インターナショナルトライアル部

協賛



国立研究開発法人
日本医療研究開発機構

後援



日本製薬工業協会